

学習日 月 日

年 組 番 氏名

1 次の間に答えなさい。(p.41)

(1) 下の数について、次の間に答えなさい。

0.2, -3, 0, $-\frac{2}{5}$, 1, -8.5, $\frac{9}{7}$

① 自然数を答えなさい。

答 _____

② 整数を答えなさい。

答 _____

(2) 次の文の空らんをうめなさい。

数の範囲を考えると、たとえば、自然数全体の集まりを① _____ という。
 また、自然数(正の整数)と0と負の整数を合わせた整数全体の集まりを② _____ という。

(3) 下の □ にどんな自然数を入れても、計算の結果がいつでも自然数になるのはどれか。

ア □ + □ イ □ - □

ウ □ × □ エ □ ÷ □

答 _____

(4) 下の □ にどんな整数を入れても、計算の結果がいつでも整数になるのはどれか。

ア □ + □ イ □ - □

ウ □ × □ エ □ ÷ □

答 _____

(5) 除法がいつでもできるようにするには、どのような数があればよいか。ただし、0でわる除法は考えないこととする。

答 _____

2 次の間に答えなさい。

(1) 下の □ にどんな正の数を入れても、計算の結果がいつでも正の数になるのはどれでしょうか。

ア □ + □ イ □ - □

ウ □ × □ エ □ ÷ □

答 _____

(2) 下の □ にどんな負の数を入れても、計算の結果がいつでも正の数になるのはどれでしょうか。

ア □ + □ イ □ - □

ウ □ × □ エ □ ÷ □

答 _____

(3) 下の □ にどんな負の数を入れても、計算の結果がいつでも負の数になるのはどれでしょうか。

ア □ + □ イ □ - □

ウ □ × □ エ □ ÷ □

答 _____

3 下の表は、自然数、整数、数全体の集合の中で四則を考えるものである。それぞれの集合の中で、計算がいつでもできるときは○、そうでないときは△を書き入れなさい。ただし、0でわる除法は考えないこととする。

	加法	減法	乗法	除法
自然数				
整数				
数全体の集合				

- 1(1)① 1 ※ 自然数とは正の整数のことである。
 ② -3, 0, 1 ※ 整数には、正の整数, 0, 負の整数がある。

- (2)① 自然数の集合
 ② 整数の集合

- (3) ア, ウ ※ イでは $5 - 8 = -3$ エでは $3 \div 2 = 1.5$ となる場合があり、
 計算の結果が、いつでも自然数になるとは限らない。

- (4) ア, イ, ウ ※ エで、小数や分数になる場合がある。

- (5) 分数 または、小数や分数

- 2(1) ア, ウ, エ ※ イでは、 $2 - 7 = -5$ となる場合があり、計算結果がいつでも正の数になるとは限らない。

- (2) ウ, エ ※ アでは $(-2) + (-4) = -6$ イでは $(-8) - (-6) = -2$
 となる場合があり、計算結果がいつでも正の数になるとは限らない。

- (3) ア

3

	加法	減法	乗法	除法
自然数	○	△	○	△
整数	○	○	○	△
数全体の集合	○	○	○	○